

活躍ボランティア農援

特産「五ヶ所小梅」

収穫で初受け入れ

三重・JA伊勢、南伊勢町



「五ヶ所小梅」を収穫するボランティア

【三重・伊勢】JA伊勢と南伊勢町は5月中旬、特産の「五ヶ所小梅」の収穫ボランティアを初めて受け入れた。収穫時期の人手不足を解消することが目的。県外から1人が参加し、同町の梅園地で、JA職員に教わりながら収穫作業をした。

JAと同町は、7年ほど前から温州ミカンの収穫時期にボランティアを受け入れているが、「五ヶ所小梅」では初の試み。収穫時期に人手が欲しいとの生産者の要望の高まりを踏まえ、ボランティアの受け入れに踏み切った。

参加したボランティアは「以前

の温州ミカンの収穫ボランティアに参加したことがきっかけで参加を決めた。生産者と話しながら和やかな雰囲気の中、収穫ができて楽しかった。また参加したい」と話した。

JAの担当職員は「受け入れ生産者とボランティアの両方から意見を聞きながら体制を整え、需要が高まれば来年度から本格的に導入し、収穫期の人手確保につなげたい」と話す。